

国民公園と環境庁の発足

第二次世界大戦後、京都御所の敷地は政府の管理下に置かれることになりました。1947 年 12 月、当時の内閣により、厚生省（現在の厚生労働省）が京都御苑と新宿御苑、皇居外苑を「国民公園」として管理することが決定しました。京都御苑には現在、運動場や子供の遊び場、水飲み場、公共トイレなどの施設が整備され、御苑というよりも公共の娯楽施設のようになっています。

テニスコート 1950（昭和 25）年

1950（昭和 25）年 5 月

児童公園 1953（昭和 28）年

自然観察会の様子

出水の小川で遊ぶたち

1971（昭和 46）年 7 月に環境庁が発足し、国民公園の管理は厚生省から環境庁に移りました。地域の自然や植物を知ることへの興味が人々の間で増していることを反映して、今日は、自然観察会などの取り組みも盛んになっています。